

大村市幼児教育・保育支援センター いっぽ

いっぽだより No.7

令和6年3月発行

今年度も、残すところあとわずかになりました。令和5年度は、コロナウイルス感染症の影響を受け、止まっていた園での様々な活動が見直され、新たに動き出した1年だったのではないのでしょうか。そのような状況の中、巡回相談やその他相談、教育・保育力向上研修への参加や園内研修等々、4月に開設した当支援センターの取組をご活用いただき、誠にありがとうございました。



【令和5年度の取組】

| 取 組 | | 内 容 | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|------|----|----------|-----|--------|----|--------------|---|---------|---|-----|---|
| 園 訪 問 | 巡回相談 ★20 園実施 ★事後フォロー訪問 4 園 | 情報提供書に記載いただいた子どもの様子を参観し、先生方にお話を伺いながら、子どもや保護者の関わり方や、今後の支援の方向性などを共有させていただきました。巡回相談後(2ヶ月程度)の様子をお電話で確認させていただき、状況に応じて当支援センター職員が再度訪問するなどして対応しました。4歳児健診後のフォローとして、巡回相談をご活用いただいた園もありました。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 保育者支援(相談業務) ★25 園 ★個人 2 名 | まずはお電話でご相談いただきました。相談の内容に応じて園を訪問し、詳しくお話を伺うこともありました。必要に応じて関係機関と連携を図るなど、課題解決に向けてお手伝いさせていただきました。 | | | | | | | | | | | | | |
| 研 究 ・ 研 修 | 教育・保育力向上研修の企画・実施 ★9 回(延べ 422 人参加) ・人権に関すること ・幼児理解・発達に関すること ・保護者対応に関すること ・幼保小連携・接続に関すること 等 | 【アンケート結果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変参考になった</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>参考になった</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参考にならない</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> | | 回答内容 | 件数 | 大変参考になった | 338 | 参考になった | 76 | あまり参考にならなかった | 0 | 参考にならない | 0 | 無回答 | 8 |
| | 回答内容 | 件数 | | | | | | | | | | | | | |
| 大変参考になった | 338 | | | | | | | | | | | | | | |
| 参考になった | 76 | | | | | | | | | | | | | | |
| あまり参考にならなかった | 0 | | | | | | | | | | | | | | |
| 参考にならない | 0 | | | | | | | | | | | | | | |
| 無回答 | 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 園内研修支援 ★延べ 6 園 ・教育・保育に関すること :2 園 ・特別支援教育に関すること:2 園 ・医療的ケア児に関すること:2 園 | 園からの要請に応じて、内容の検討、講師の紹介、日程調整等、コーディネートしたり、講話をしたりしました。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究の協同実施 ★放虎原こども園 ~研究テーマ~ 『保育の質の向上につながる記録のあり方』 (※SOAPの視点を用いての記録) | 放虎原こども園と協同し、役割を分担しながら実施しました。研究テーマの設定、研究の内容・方法、実践の検討・協議、資料作成を行いました。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【成果】 ・記録の目的を明確化 ・よりよい保育に向けての意識の共有 ・幼児理解の深まり | 【課題】 ・記録及びカンファレンスの時間確保 ・勤務態勢の工夫 | | | | | | | | | | | | | |

※S:幼児の姿(主観的データ) O:読み取り(客観的データ) A:願い(アセスメント・評価) P:環境の構成・援助(計画)

情報発信

『いっぽだより』発行

★7回発行(基本的に隔月発行)

(大村市のホームページにも掲載しています)

その他

幼保小連携連絡協議会事務局

★3回開催(6月・8月・2月)

長崎県新規採用研修会 I 講話(6月)

市内小学校保健部会講話(11月)

幼保小合同研修会は『教育・保育力向上研修会』に組み込みました。

先生方が、子どもたちのために、よりよい保育に向けて
悩み、迷いながら創意工夫を重ねて進んでいらっしゃる姿に
たくさんのエールをいただきました。

ご協力、誠にありがとうございました。

今後も語り合いの中で、よりよい方法と一緒に見つけていけたらと思っております。
次年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。



令和5年度幼保小連携連絡協議会委員の先生方、ありがとうございました！

各園にメールにて配布しております『令和5年度幼保小連携・接続実践報告』、それぞれの園でご覧いただきましたでしょうか？お忙しい中に委員の先生方が今年度の取組をまとめてくださいました。幼保小連携・接続の取組の参考にしていただけたらと思います。

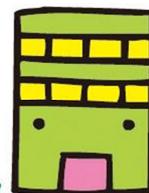
さて、とある大学の先生から当支援センターに以下のご質問のメールが届きました。

「園の先生方から『小学校が要録でどのようなことを一番知りたいと思っているのか知りたい』とのお尋ねがありました。『どうせ書くならば、知りたいと思っておられるところを中心に書けたら』との背景があるようです」

とのことでしたので、この協議会でも話題にいたしました。確認したことは、要録は、小学校が知りたいとことだけに合わせて書くものではなく、乳幼児期で育まれたその子なりの育ちの過程や、保育者自身がその子とどう関わってきたかの振り返りの記録でもあるということ。だからといって、エピソードの羅列や保育者の感想、「これはできる、これはできない」など、物差しの書き方でいいというわけではありません。資質・能力の育ちを意識しながら「10の姿」を活用して、読み手に伝わる言葉や表記を工夫していくことが大切です。例えば、「～を契機に成長した」といった変容のきっかけとなった出来事や「一見～な面が見られるが、～など援助することで、～のようになり成長が見られている」、「～については指導の過程にあり、今後も～するなど、指導が必要である」など…。
具体的事実に加え、先生方が大切にしてきたその子のよさや、育ちつつある姿や関わりの過程を、記録というバトンに託してリレーし、バトンを受け取る側の小学校でも、指導の工夫に生かしていただきたいものですね。



令和6年4月1日
こどもセンターに
お引越し



令和6年4月1日(月)より、こどもセンター2階に移転し業務を行います。

3月28日(木)～3月29日(金)は移転作業のため、電話等使用できません。急なご相談などは、こどもセンターへご連絡いただきますようお願いいたします。折り返しこちらからお電話いたします。

4月1日(木)から、電話番号、FAX番号、メールアドレスは変更ありませんので、これまで通りご利用ください。ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

★3月28日(木)～3月29日(金)・・・こどもセンター(TEL:54-9100)

★4月1日(月)～・・・〒856-0832

大村市本町413番地2(こどもセンター2階)

TEL・FAX:0957-46-5881

Email:youkyou@city.omura.nagasaki.jp